

神田小の誇りは「明るい笑顔」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



学校だより

No. 7 さいたま市立神田小学校

平成29年 10月31日発行 TEL (853) 4377
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を
たくましく生きる神田の子
・かしこく・たくましく・あたたかく

10月21日(土)から23日(月)まで5年生児童が福島県南会津郡にある「たかつえ自然の教室」に行ってきました。

あいにくの天候でしたが、雨の中でも、子どもたちは、フィールドワーク、キャンプファイヤー、山女魚さばき、ぶんぶんごま作りなど、たくさんの活動に取り組むことができました。

後日、たかつえ自然の教室で指導を頂いた先生から神田小学校に直接電話があり、神田小の子どもたちが、友だち同士協力して意欲的に活動に取り組み、大変立派であったとお褒めの言葉をいただきました。

私も、23日(月)に2泊3日の校外学習を終えて帰校した子どもたちを出迎えて、一回りも二回りも大きく成長した姿を目の当たりにし、大変嬉しく、頼もしく感じました。これからも、神田小を支える高学年として活躍してほしいと期待しています。



「じっくり取り組む」

校長 内野 多美子

11月1日から1泊2日で、6年生は日光方面に修学旅行に行きます。日光の東照宮は、平成25年6月から改修工事が行われてきました。陽明門は改修工事がほぼ終了し、創建当時の美しい姿となりました。歴史的建造物や景勝地を見ることで日本の歴史や文化を感じてほしいと思います。

日光東照宮には、江戸幕府を開いた徳川家康が祀られています。徳川家康といえば、「鳴かぬなら 鳴くまで待とう ホトトギス」の句で知られるとおり、「じっくり取り組む」「忍耐強い」というイメージがあります。今も、テレビ等で歴史上の人物として徳川家康が取り上げられるのは、平和な世の中をつくるために様々な困難や難題に対し、じっくり辛抱強く取り組む姿に、現代の私たちも共感するからではないでしょうか。

子どもたちにとっても、「じっくり取り組む」ことは大切であると考えます。現代社会は、インターネット等の発達により、瞬時に多種多様な情報を手に入れることができます。子どもたちも調べ学習などで分からないことを、すぐに調べることができます。でも、その情報が本当に正しいものなのか、さらに分からないことはないか、どうしてそうなのかなど、じっくり考え取り組むことが大切です。

本校は、平成28年度から、さいたま市教育委員会による「教育の情報化」の研究指定を受け、ICT機器を活用した学習の推進をしています。その中でも、子どもたち同士が、それぞれの考えのよさを認め合いながら、じっくり考え取り組むことを大切にし、「わかって 楽しい よい授業」の実践に、これからも取り組んでまいります。